

# 新才区人権学習会

2023年2月28日（火）

午後7時30分～

丹波市人権啓発センター 宮田寛章

# あるストーリーから

- ある男が、自分の息子を「車」に乗せて、自ら運転をしていた。残念なことに、その「車」はダンプカーと激突して、大破してしまった。
- 救急車で搬送中に、運転していた父親は死亡。息子は意識不明の重体。あまりに悲惨な事故だった。
- 救急病院の手術室で、運びこまれてきた後者の顔を見た外科医は息を呑む。そして、つぎのような意味のことを口にした。
- 「自分はこの手術はできない、なぜならこの怪我人は自分の息子だから」
- これはいったいどういうことか？



## あれっ？と感じた方は、、、

- 無意識のうちに「性別」と「職業」を結びつけて考えているかもしれません。
- 物事を理解するときに、他人を理解しようとするときに、そこに「無意識の思い込み」（アンコンシャス・バイアス）が入り込んでいるかもしれません。

# 思いあたるものは何個ありますか？

- ➡ ①：外国人はルールを守れない人が多いと**つい**思ってしまう
- ➡ ②：親が保育士と聞くと、**つい**母親を思い浮かべてしまう
- ➡ ③：高齢者の頭は固く、若者の頭は柔らかいと**つい**思ってしまう
- ➡ ④：障がいのある人は簡単な仕事しかできないと**つい**思ってしまう
- ➡ ⑤：LGBTの人は身近にはいないと**つい**思ってしまう
- ➡ ⑥：男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と**つい**思ってしまう
- ➡ ⑦：子育て中の女性に、転勤を伴う仕事や責任の重い仕事の打診はしないほうがいと**つい**思ってしまう

# 思いこみが問題になるとき

- ➡ A : 「親は単身赴任中です」
- ➡ B : 「お父さん大変ね」
- ➡ A : 「いや、母親のことです」
- ➡ B : 「え？母親なのに単身赴任？あなた、かわいそうね・・・」

# 無意識の思い込みと向き合うためのポイント

～気づかないうちに人を傷つけないために～

- ➡ ①：決めつけない、押しつけない  
「普通そう」、「どうせ無理」、「こうに決まっている」、「こうあるべき」
- ➡ ②：自分にある「無意識の思い込み」に気づこうとし、意識する
- ➡ ③：ひとりひとり、その時々と向き合う（「101人目への想像力」）  
「これまで出会った100人の人はこうだった」  
→ 「101人目は違うかもしれない」、「この人は違うかもしれない」